小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人秀峰会	代表者	櫻井　大
事業所名	小規模多機能型居宅介護　われもこう	管理者	立石　しおり

法人・事業所の特徴	同法人は、「横浜の大地に住まう人々の、生活障害の軽減を支援する願い」を持って事業活動を進め、市内全域で介護分野の全ての形態の事業を展開し、100ヶ所を超える事業所を運営しています。 「われもこう」はご利用者にとって、いつでも通えて泊まれる『近所にあるもう一つの家』と思っていただける施設でありたいとまた、介護職員、看護職員が連携してご利用者様を見守る目と支える手として機能したいと考えています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民･地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	０人	１人	１人	０人	０人	１人	１人	２人	０人	６人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	取り組みの確認と意見提示は参加職員に限られる傾向あるため、参加率を上げるか事前に意見を集約する取り組みを行う。	研修にて自己評価に取り組み個別性の支援はアンケートを実施し寄り添った支援をしているが、ご利用者全員の個別支援実現には至っていない。	ミーティングだけではなく上手に共有するための工夫がされていて、結果にこだわらず取り組む姿勢が大切。ご利用者様のために考えている所が素晴らしい。	積極的にご利用者様や家族、職員の意見を取り入れ、ミーティングや個別支援実現を目指す。
B．事業所のしつらえ・環境	コロナに対しての環境整備は継続し、感染者ゼロを目標に取り組む。	環境整備の対応、感染症対応の勉強会や初動動作確認などに取り組んでいる。感染症蔓延ゼロは達成した。	コロナ禍における環境整備に取り組まれている。感染症を含めご利用者が気持ちよく過ごせるような環境整備をお願いしたい。	感染症蔓延ゼロを目標に環境整備や職員への研修などを継続する。
C．事業所と地域のかかわり	地域活動があれば積極的に参加し、無い場合には外部との交流を図れるような活動（ボランティア）の推進を行う。	地域の祭りや近隣保育園児との交流を実施。民生委員の集まりにも積極的に参加し、認知症についての勉強会を実施。	町内会への参加、地域の保育園との交流など、できる範囲で地域交流をして頂いている。	地域で開催する活動には積極的な参加を図り、近隣園児たちとの交流は継続する。事業所主催の行事で地域の方が参加できる環境を作る。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナの予防対策を行ったうえでの外出レクの再開を目標とする。	夢や希望を叶える個別支援として、外出レク（動物園や横浜散策）を実施。	情報収集に取り組み、真のニーズに対応する姿勢が素晴らしいと思います。難しい課題にもしっかりと取り組まれています。	ご利用者様の夢や希望を叶える個別支援（外出・外食レク）の再開に取り組む
E．運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の現地開催を積極的に推進しつつ、参加者の意向に沿う形での開催、意見交流を図る。	運営推進会議は行えず書面開催となった。交流の場が無いことで地域の課題が判らず苦労をしている。	計画的な局員教育、レクやイベントの実施もされており良い。会議は無かったが、改善や取り組みは実施していると感じる。	運営推進会議の対面開催を積極的に推進し、参加者の意見交流を図る
F．事業所の防災・災害対策	災害想定の避難訓練を実施し、自治会員の方の参加を相談。	年 2 回の消防訓練と消防立ち合いでの AED 訓練や水消火器を使用した訓練を実施	計画的な防災訓練に取り組まれていると思います。	計画的な災害想定の避難訓練を年 2 回実施し、自治会の方々の参加を相談。